

書き方のポイント・留意事項

公益信託荘内銀行ふるさと創造基金 助成金申請書

2025年 月 日

申請者(団体名)		【団体の代表電話】	
ふりがな			
団体名		【Eメールアドレス】	
代表者の役職名・氏名		連絡担当者(常に連絡の取れる番号)	
ふりがな		代表	
氏名		連絡担当	
	TEL	【ホームページ・SNSなど】	
申請者(団体)住所		活動年数	ブル
選考結果の送付、助成決定後の手続きに使用します。		当基金への申請	ブル
郵便番号		学校教育、社会教育分野をブルダウン	
団体名＋代表者名で受け取れる住所をご記入ください。			
NG: 連絡担当者の個人宅など、団体名・代表者名で届かない住所			
事業名		テーマ及び添付資料枚数	
事業名はできるだけ簡潔にご記入ください。		該当するテーマ	ブルダウンから
		添付書類の枚数	
(1) 背景、地域課題(200字程度)		(2) 事業の狙い・目的(200字程度)	
各欄内での改行は、「ALTキー＋ENTERキー」で入力できます。		【ポイント】 ・「(1) 背景、地域課題」と、「(2) 事業の狙い、目的」が結びついている(対になっている)こと ・取り組みの過程で地域と密接に関わり、その成果・効果が地域に波及すること ・活動対象としているものの歴史や背景がわかる資料など、参考となる資料があれば添付	
(3) 事業内容(500字程度)		2025年度主な活動計画	
【ポイント】 ・「(1) 背景、地域課題」、「(2) 事業の狙い、目的」に合った事業内容となっていること ・新規の取り組みか、既存の取り組みの拡充を図るものかを明記 ・各取り組みの開催時期や開催規模、対象者など、できるだけ具体的に記載 ・事業の企画書やこれまでの活動実績など、参考となる資料を添付 ※「別紙のとおり」等とのみ記載して申請することはできませんのでご注意ください。		年間の活動のなかで主要なものをご記入ください ・団体内部の会合等は、開催時期、会合名、参加人数・数量などを記入 ・外部向けのイベント等は、開催時期、イベント名、冊子やDVD等の発行物の場合、発行時期、発行人数、配布施設数などを記入	
(4) 助成を必要とする理由(300字程度)		0(字)	
【ポイント】 ・自主財源の状況(事業全体の中でどの部分で資金が不足しているのか)について記載があること ・助成金を今回充当することにより、以後の活動が継続して行える見込みについて記載があること ・見積書等があるものは添付			
事業の収支、及び助成希望額等についてご記入ください。 ※収入＝支出となるようご記入ください			
事業全体の収入の内訳	金額(円)	事業全体の支出の内訳	金額
ふるさと創造基金助成金(＝助成希望額)		↓助成金充当希望費目にチェック	積算(算出根拠)
		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	複数の項目を選択できます。金額の一部に助成金の充当を希望される場合も選択してください。 ただし、人件費は助成対象外ですので、ご注意ください。
収入の合計		支出の合計	
当基金助成金(＝助成希望額)を含む事業全体の「収入の合計」と、事業全体の「支出の合計」が同額となるようにご記入ください。			
主な構成員(氏名・勤務先等)と人数		事務局	
当基金を何で知りましたか	ブルダウンから選択▼	紹介者	
チェック欄	当団体の代表者および構成員が、反社会的勢力もしくはそれらと密接な関係がある団体・個人に該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約し、虚偽の申告をしたことが判明した場合には、受給した助成金を全額返還することに同意したうえで申請します。		

この欄へのチェックをもって当該条項への同意を確認させていただきます。チェックが無いものは申請を受理できませんのでご注意ください。

記入例

公益信託荘内銀行ふるさと創造基金 助成金申請書

2025年 1月 6日

申請者(団体名)		【団体の代表電話】	
ふりがな やまがたしりつしょうないしょうがっこう		023-123-4567	
団体名 山形市立荘内小学校		【Eメールアドレス】	
代表者の役職名・氏名		連絡担当者(常に連絡の取れる番号)	
代表		taro@***.com	
ふりがな しょうない たろう		連絡担当 hanako@***.com	
氏名 校長 庄内 太郎		氏名 山形 花子	
TEL 090-1234-5678		【ホームページ・SNSなど】	
申請者(団体)住所		http://*****	
郵便番号 990-1234		Facebook http://*****	
山形市荘内町1-2-3		活動年数 10年以上	
事業名		当基金への申請 3回目	
地域の伝統芸能を学び伝える「子ども●●舞」継承活動		テーマ及び添付資料枚数	
該当するテーマ		学校教育	
添付書類の枚数		3枚	
(1) 背景、地域課題(200字程度)		165(字)	
(2) 事業の狙い・目的(200字程度)		197(字)	
・本校がある地区には、古くから重要文化財の「●●舞」が伝わっているが、近年は踊り手・関係者が高齢になりつつあり、継承が課題となっている。 ・担い手の育成と確保が急務であり、より若いうちから、早期に「●●舞」と接する機会を創出することで、「●●舞」への誇りや、地域への愛着を醸成していく必要がある。 (添付資料①:「●●舞」の歴史)		・学校教育の中で、地域価値である「●●舞」を知ること、踊ることに取り組む。 ・総合的な学習による舞の活動は、これまで6年生が対象であったが、新たに5年生にも拡大し、舞に触れる時期の早期化と機会の拡大を図り、地域価値の認識、地元愛の醸成を育むことを通じ、担い手の確保を目指す。 ・また、地域の方々との交流によって、児童の社会性の育成にもつなげていく。 (添付資料②:令和4年度総合的な学習の概要)	
(3) 事業内容(500字程度)		433(字)	
①子ども●●舞の対象の拡大と活動の充実(既存の取り組みの拡充) ・例年、6年生が総合的な学習の時間の中で「子ども●●舞」を習い、「●●神社例祭」で舞を披露してきた。 ・今後は、5年生の総合的な学習の時間でも●●舞を学び、継承していく。 【対象】6年生に加え5年生も対象とし、総勢40名が舞を踊れるようする。 【活動】新たに地区文化祭や地区内福祉施設訪問、踊交流会等で披露し、地域に広く発表交流の機会を設けて活動を充実させ、地域学習を通じて地元への愛着を育てる ②継承活動のためのDVD制作(新規の取り組み) ・現在、地元の舞の保存会に講師を依頼し練習しているが、講師が高齢になりつつある。自主練習でき、今後、校内での指導を可能とするため、DVDを制作する。 ・出演者は講師のほか、舞を習得した上級生とし、撮影編集は専門業者に依頼。しっかりした内容のものを作っておくことで、長年使用できるものにする。(100枚) (添付資料③:過去の活動実績および来年度活動計画)		2025年度の主な活動計画	
		開催月 内容 人数・数量など	
		毎月 校内自主練習会 各50人	
		年3回 福祉施設訪問交流(6年生) 各70人	
		年3回 福祉施設訪問交流(5年生と6年生) 各140人	
		5月 継承用DVD制作 100枚	
		8月 ●●地区踊交流会 200人	
		10月 ●●神社例祭 500人	
		11月 地区文化祭発表会 300人	
		随時 講師指導によるの練習会 各50人	
(4) 助成を必要とする理由(300字程度)		189(字)	
・新規衣装代に後援会予算から手当するものの、児童数の減少等により不足するため、助成金を充当したい。 ・また、自主練習のための継承用DVD制作費用についても、併せて助成を活用したい。 ・一時的に費用が発生する衣装及び継承用DVDを今回整備できれば、講師の依頼回数の調整と併せ、後援会・PTA予算等の自主財源の範囲内で自走が可能。 (添付書類④、⑤:衣装カタログ、DVD制作見積書)			
事業の収支、及び助成希望額等についてご記入ください。 ※収入＝支出となるようご記入ください			
事業全体の収入の内訳		事業全体の支出の内訳	
金額(円)		金額(円)	
ふるさと創造基金助成金(＝助成希望額)	150,000	↓助成金充当希望費目にチェック	積算(算出根拠)
学校後援会予算	100,000	☐ 指導講師謝礼	5,000円/回×6回 30,000
PTA予算	50,000	☒ 継承用DVD制作費	撮影・編集一式 100,000
		☐ DVD購入	100枚 10,000
		☒ 衣装代	8,000円×20着 160,000
		☐	
		☐	
		☐	
		☐	
		☐	
		☐	
収入の合計	300,000	支出の合計	300,000
主な構成員(氏名・勤務先等)と人数		庄内太郎(校長)、山形花子(教頭)、ほか教職員15名、全校児童120名 合計137名	
事務局欄			
当基金を何で知りましたか		・紹介(荘内銀行関係者以外) 紹介者 ○○支店 佐藤支店長	
チェック欄 当団体の代表者および構成員が、反社会的勢力もしくはそれらと密接な関係がある団体・個人に該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約し、虚偽の申告をしたことが判明した場合には、受給した助成金を全額返還することに同意したうえで申請します。			
☒			